

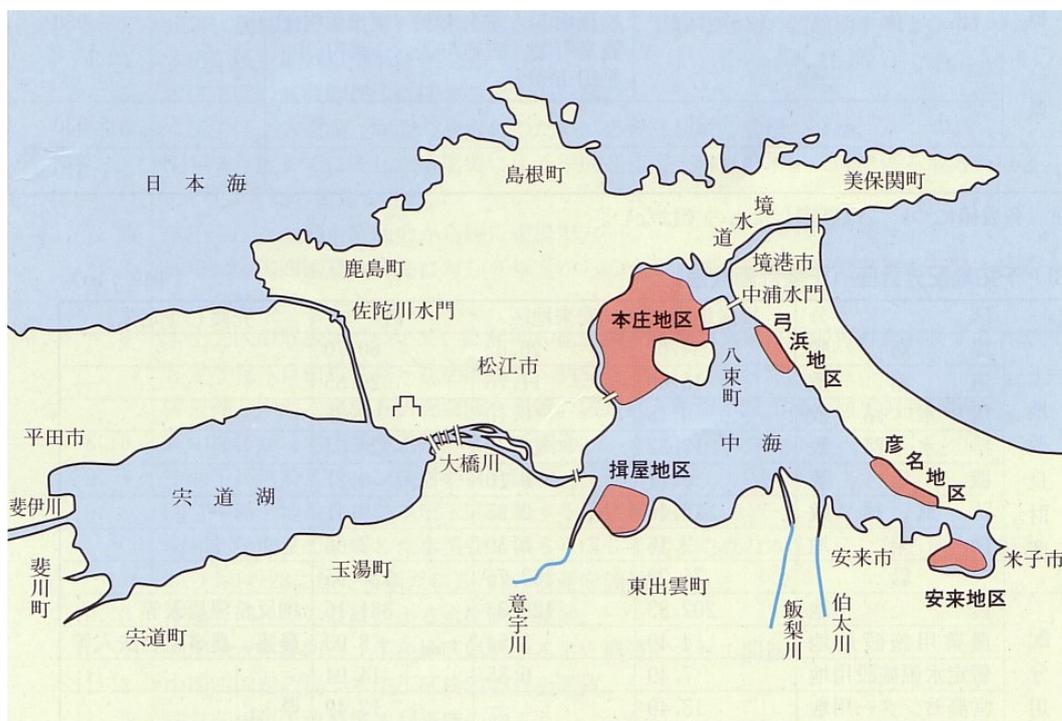
中海干拓の営農推進の概要（令和2年度版：2020年/4月）

1 中海干拓事業の概略

中海干拓事業は国営事業として昭和38年より行われ、中海水域内に干拓適地の5地区を選定し、島根県側の本庄、揖屋及び安来地区は干し上げ工法により、鳥取県側の弓浜及び彦名地区は埋立工法により新たに農地を造成する計画であった。

この干拓事業5地区のうち、島根県側の揖屋・安来地区及び鳥取県側の弓浜地区は平成元年度に、彦名地区は平成3年度にそれぞれ完了したが、本庄地区は平成12年9月に干陸中止が決定した。これに伴う周辺整備等の完了により、平成25年度末に国営中海土地改良事業は完了した。

【中海干拓位置図（計画当初）】



【干拓面積（島根県分）】

地区名	地区面積 ha	公社配分地		他用途、 道路敷地、 水路敷地等 ha
		農地 ha	農業用施設 用地等 ha	
揖屋	323.2	228.3	202.8	25.5
安来	203.8	138.4	128.3	10.1
計	527.0	366.7	331.1	35.6

2 中海干拓売渡・貸付状況（島根県分・公社配分地）

令和2年3月31日現在

地区名	農地			農業用施設用地等		計 ha
	売渡済 ha	未売渡 ha	うち貸付 ha	売渡済 ha	未売渡 ha	
安来	95.8	32.5	25.7	10.1	—	138.4
計	290.9	40.2	31.1	35.6	—	366.6

※農地長期貸付は最大10年

3 干拓営農の状況

(1) 作付状況

【揖屋地区】

平成31年&令和元年の作付調査結果（年間の作付け）によると、キャベツ（約55ha）、牧草（約28ha）、津田かぶ（約9ha）が多く栽培されている。このほか、キャベツの後作として産地化を図る品目として、スイートコーンの作付面積が増加してきている。

【安来地区】

平成31年&令和元年の作付調査結果（年間の作付け）によると、キャベツ（約18ha）、牧草（約6ha）、ニンニク（約6ha）などとなっている。イオンアグリ創造株式会社等の参入により全体的には地区内の生産活動は活発になってきているが、低利用やほ場の一部のみで栽培するなど土地利用の差が顕著になっている。

(2) 営農推進上の課題

部分竣功（営農開始）から25年以上が経過し、既耕地と同様に営農者の高齢化を要因とする作付休閑地が依然として多くみられる。また、農産物の価格の低迷が営農意欲の低下を招いている実態は否めない。一方で、各地区ではJAを中心に新規就農者確保のための研修事業が実施され、新規の就農者も誕生してきている。

作付休閑地を有効に活用するためには農地中間管理事業によって新たな担い手を確保し、それらの担い手に農地を集積していく必要がある。

(3) 営農支援

県では、作物栽培、機械化体系等の調査研究、実証展示、体験研修による営農技術の向上と営農相談や経営技術研修による畑作営農の確立・安定に資するため、平成元年4月1日に中海干拓営農センターを揖屋地区に設置した。

その後、平成12年4月1日に中海干拓営農センターを安来地区に移転し、U・Iターン者などの新規就農者に対する実践型農業研修機能を付加するなど機能強化を図ってきた。

こうした中、設置より20数年を経過し、当初の目的を達したとの判断から中海干拓営農センターを廃止し、揖屋地区では東部農林振興センター松江農業普及部が、安来地区では同部安来支所が干拓地での営農支援を担っている。なお、平成26年度には松江農業普及部安来支所は2課体制となり、栽培指導担当課と担い手育成担当課に分かれ、支援の充実を図っている。

(4) 新規就農者の確保

安来地区では旧中海干拓営農センターの施設を活用し、島根県農業協同組合やすぎ地区本部が担い手支援センターを開設した。担い手支援センターは新規就農希望者の研修機能を持ち、松江農業普及部安来支所と連携して平成24年7月より研修を開始した。

平成25年度からは揖屋地区で、島根県農業協同組合くにびき地区本部が松江農業普及部と連携して「だんだん営農塾」を開講し、後継者育成に取り組んでいる。平成26年度には島根県農業協同組合くにびき地区本部中海干拓事業所の敷地内に研修室を新設し、「だんだん営農塾」の講義や地区内の営農者の研修施設として活用されるようになった。

また、平成29年には、揖屋地区にある島根県農業協同組合くにびき地区本部の水稻育苗後のハウスを借りてミニトマト栽培に取り組む新規就農者を新たに確保した。

(5) 営農等に関する動き

□ 企業等の農業参入

これまで個人農家の営農が主体であったが、平成14年以降企業が関係する法人の参入が増加してきた。過去10年以内の参入は次のとおりである。

揖屋地区			安来地区		
年度	法人名	作物	年度	法人名	作物
H14	(有)津田かぶ農園	津田かぶ等	H18	(有)中海ブルーベリーファーム	ブルーベリー
H22	アグリわこう(株)	キャベツ等	H18	安来オーガ(有)	大麦若葉
H30	(株)ライフサポート	キャベツ等	H21	ハウスプラント(株)	トマト
			H24	イオンアグリ創造(株)	キャベツ等
			H27	(有)鳥取西部会	じゃがいも等
			H29	(合)サンスター	そば等
			H29	農の郷	トマト
			R01	(株)岡農産	キャベツ等

□ 基盤の再整備

干拓地では水はけが収量増や品質向上に不可欠であり、このため、農地を担い手に集積するためにも暗渠排水の整備が不可欠であった。

そこで、農業体質強化基盤整備促進事業(平成25年度からは基盤整備促進事業)の定額助成を活用して暗渠排水の整備を行った。安来地区では平成23年度に事業採択を受けて平成24年度に整備が完了し、揖屋地区では平成24年度に事業採択を受けて平成26年度までに併せて約120haの工事が実施された。

農業体質強化基盤整備促進事業の実施状況

事業実施年度	事業実施主体	事業量
平成23年度～平成24年度	安来市土地改良区	2.1ha
平成24年度～平成26年度	農地・水・環境保全組織	92.5ha

■ 作付調査結果

平成31年&令和元年 中海干拓地作付状況（通年）

単位：ha

作物名	松江市	東出雲町	揖屋地区	安来地区	合計
キャベツ	17.1	37.7	54.8	18.4	73.2
津田かぶ	2.1	7.0	9.1	0.0	9.1
スイートコーン	0.3	0.8	1.2	0.0	1.2
サツマイモ	0.5	1.2	1.8	0.1	1.9
サトイモ	0.4	0.8	1.2	0.5	1.7
タマネギ	0.1	0.6	0.7	1.3	2.0
ニンジン	0.7	1.3	2.0	0.3	2.3
ニンニク	0.0	0.2	0.2	5.6	5.7
ブロッコリー、カブラワ	3.3	3.9	7.2	3.9	11.1
ジャガイモ	0.0	0.1	0.1	0.2	0.3
トマト	0.0	0.1	0.1	2.0	2.1
アスパラガス	0.0	0.2	0.2	0.1	0.3
カボチャ	0.1	0.6	0.7	0.1	0.8
イチゴ	0.0	0.0	0.0	1.8	1.8
その他野菜	6.4	8.0	14.4	6.9	21.3
ハウス（野菜・花き）	1.4	1.8	3.2	3.7	6.9
ポタン	0.0	0.2	0.2	0.0	0.2
花木、その他花き	3.0	0.8	3.8	4.3	8.1
ブドウ	0.1	0.8	0.9	2.1	3.0
西条柿	0.6	2.6	3.2	1.1	4.3
ナシ	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5
イチジク	0.6	0.0	0.6	0.5	1.1
その他果樹	0.2	0.8	1.0	4.1	5.2
ソバ	1.2	1.1	2.4	1.5	3.9
茶	1.8	0.0	1.8	0.0	1.8
麦	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
大豆	0.0	1.0	1.0	0.0	1.0
牧草	9.2	18.8	28.0	6.6	34.7
緑肥作物	1.2	0.0	1.2	1.8	3.0
その他作物	0.0	2.0	2.0	0.9	2.9
小 計	50.3	92.6	142.9	68.2	211.2
作付準備地	11.5	32.6	44.1	23.2	67.3
作付休閑地	1.5	6.8	8.2	11.2	19.4
その他 ※	0.0	7.6	7.6	25.6	33.2
合 計	63.3	139.5	202.8	128.3	331.1

※その他は、揖屋地区の町民農園と農機試験ほ場、安来地区の干拓営農部・ふれあい公園用地を含む。

中海干拓地作付状況とりまとめ表（揖屋地区：令和元年末版）

単位：ha

作物名	H26	H27	H28	H29	H30	R01	(R01)-(H30)
キャベツ	36.3	37.5	37.0	39.1	50.9	54.8	3.9
津田かぶ	5.4	7.5	9.4	10.6	10.5	9.1	-1.4
サトイモ	2.1	1.0	1.1	1.4	0.9	1.2	0.3
白ねぎ	0.2	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.0
タマネギ	0.0	0.2	0.2	0.9	0.6	0.7	0.1
ブロッコリー(カリフラワー)	5.4	7.4	9.4	7.0	5.0	7.2	2.2
サツマイモ	3.2	3.6	2.7	2.7	1.8	1.8	-0.0
ハクサイ	2.2	2.0	1.5	1.0	3.0	3.0	0.0
スイートコーン	1.3	0.7	0.6	2.4	1.3	1.2	-0.2
アスパラガス	0.3	0.3	0.2	0.3	0.4	0.2	-0.1
カボチャ	0.4	0.4	0.4	0.5	0.7	0.7	-0.0
ニンジン	1.6	1.5	2.0	1.0	2.6	2.0	-0.6
ニンニク	0.2	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	-0.0
その他野菜	7.9	12.5	13.9	12.6	13.7	11.1	-2.6
ハウス(野菜・花)	3.2	4.2	3.7	3.9	2.8	3.2	0.4
ボタン	0.8	0.8	1.0	0.9	0.6	0.2	-0.4
花木	4.8	3.8	4.3	3.7	4.1	3.8	-0.2
ブドウ	1.1	1.0	1.1	1.0	0.9	0.9	0.0
西条柿	3.4	3.4	2.6	2.6	3.2	3.2	0.0
イチジク	0.4	0.1	0.1	0.6	0.6	0.6	-0.0
その他果樹	0.9	1.1	0.7	0.8	1.0	1.0	-0.0
ソバ	6.1	4.9	3.0	2.9	3.2	2.4	-0.9
大豆	0.0	1.8	1.6	1.0	1.2	1.0	-0.2
茶	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	0.0
えごま	0.8	1.1	4.0	2.1	2.0	1.7	-0.3
牧草	46.0	41.0	37.7	33.0	29.9	28.0	-1.8
緑肥作物	3.1	1.7	0.6	0.2	1.2	1.2	0.0
その他作物	1.4	0.0	0.4	0.3	0.0	0.3	0.3
小計	140.0	142.1	141.4	135.0	144.6	142.9	-1.7
作付準備	41.4	21.5	19.5	23.1	37.8	44.1	6.3
作付休閑	12.6	31.5	34.2	37.2	12.9	8.2	-4.7
その他	8.9	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	0.0
合計	202.8	202.8	202.8	202.8	202.8	202.8	0.0

◎備考

①調査時期：春調査(6月)と秋調査(10月)から算出。

②その他(作物以外の状況評価用語)

○作付準備：耕起、耕耘されている状況。その他、明らかに作付準備がされている状況。

○作付休閑：現在、耕作されていないと見込まれる農地(作付準備地を除く)。

○その他：揖屋地区では町民農園と三菱農機

中海干拓地作付状況とりまとめ表（安来地区：令和元年末版）

単位：ha

作物名	H26	H27	H28	H29	H30	R01	(R01)-(H30)
キャベツ	19.7	15.8	13.1	16.5	10.4	18.4	7.9
サトイモ	0.3	0.4	1.8	1.6	0.9	0.1	-0.8
白ねぎ	1.0	0.7	0.4	0.7	0.6	0.6	0.0
タマネギ	0.5	0.8	0.0	0.8	2.8	1.3	-1.5
ブロッコリー(カリフラワー)	1.2	3.0	4.2	4.1	3.9	3.9	-0.0
サツマイモ	0.8	0.3	0.2	0.4	0.3	0.1	-0.2
ハクサイ	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.0	-0.2
スイートコーン	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
アスパラガス	0.4	0.6	0.5	0.3	0.1	0.1	-0.0
カボチャ	0.1	0.0	0.6	0.9	0.3	0.1	-0.3
ニンジン	0.0	0.3	0.4	0.3	0.3	0.3	0.0
ニンニク	1.0	2.7	3.2	3.9	4.7	5.6	0.9
その他野菜	3.3	7.1	7.9	7.6	9.5	10.6	1.1
ハウス(野菜・花)	5.0	6.1	6.4	6.9	3.9	3.7	-0.2
花木	0.3	0.9	0.1	0.6	0.3	4.3	4.0
ブドウ	2.5	2.6	2.6	2.7	2.1	2.1	0.0
西条柿	1.0	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	0.0
ナシ	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.0
イチジク	0.9	0.1	0.2	0.5	0.5	0.5	0.0
その他果樹	3.3	3.3	3.2	3.4	4.3	4.1	-0.2
ソバ	2.7	0.9	0.9	0.6	1.8	1.5	-0.3
葉たばこ	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大豆	0.0	0.3	0.0	0.0	0.2	0.0	-0.2
杜仲	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.0
麦	3.4	0.9	0.9	0.0	0.2	0.1	-0.2
えごま	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0
牧草	16.1	12.0	1.4	2.1	9.1	6.6	-2.5
緑肥作物	0.9	0.0	0.0	0.0	1.3	1.8	0.5
その他作物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小計	65.6	61.9	50.6	56.7	60.2	68.2	8.1
作付準備	15.9	4.5	18.0	10.8	29.5	23.2	-6.3
作付休閑	14.4	36.2	33.2	34.4	12.2	11.2	-0.9
その他	26.5	19.7	25.6	26.5	26.5	25.6	-0.9
未作付	6.0	6.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	128.3	128.3	128.3	128.3	128.3	128.3	0.0

◎備考

①調査時期：春調査（6月）と秋調査（10月）から算出。

②その他（作物以外の状況評価用語）

○作付準備：耕起、耕耘されている状況。その他、明らかに作付準備がされている状況。

○作付休閑：現在、耕作されていないと見込まれる農地（作付準備地を除く）。

○その他：安来地区では東部農林振興センター中海干拓営農部、中海ふれあい公園用地。